

水戸氏

通巻 第23号 〈神幸祭特集号〉



平成四年の御神期大祭の御神幸

御挨拶

宮司 竹間 宗麿

菊花薫る秋、自然の猛威に曝されながらも、たくましい稔りに感謝の祭りが各地で執行されています。

当大社では、秋分の日の剣道大会に始まる、通称「高良山くんち」としてご例祭の秋祭りが斎行されます。

特に「御神期大祭」(五十年に一度・前回平成四年)から二十年目の今年、小規模ながら「高良大社神幸祭」が実施されます。この御事にあたり、山麓の御井、山川、高良内三町の振興会の皆様を中心に実行委員会が組織され、役割を分担し挙行されます。

また地元久留米に於いては九州新幹線が全線開通し「新」久留米駅が誕生し、山下には新設道路(東合川野伏間線)の部分完成開通をみるなど、世の中の変動を感じると共に、時あたかも「古事記」が撰録されて一三〇〇年、神宮大麻・暦頒布が始められて一四〇年を迎えている今年、そして伊勢神宮におきましては来年秋に式年遷宮を控えているということを考えますと、時代の流れの摂理を慮り、感慨深いものを覚えます。

この秋にあたり、氏子崇敬者の皆様のご清祥、ご発展をお祈りすると共に東日本大震災を始め豪雨台風等被災の方々の一日も早いご回復をお祈りいたします。

平成二十四年 高良大社神幸祭 斎行の大綱について

いよいよ十月の十四日には平成四年に斎行された「御神期大祭（ごじんきたいさい）」を基にし神幸祭が斎行されます。

左にその大綱を記し、御崇敬の皆様方にその主旨と概要を御説明申し上げます。

延喜式内名神大社、筑後国一の宮である高良大社には古く「年中行事六十余度」と言われる数多くの祭が受け継がれていて、現在では摂末社を含め年間百四十余度の祭儀が斎行されています。

中でも特に重要とされているのが「大祭礼」「大祭祀」と呼ばれた神幸祭（じんこうさい）です。この神幸祭は、高良山上の本社から山麓の朝妻の頓宮（味水御井神社）の地まで御神輿が神幸する祭儀です。

中世の記録である「高良記」には、神幸式の詳しい列次内容が記されており、称徳天皇の神護景雲元年（七六七）、勅裁をもって始められ、神輿に供奉する人数は壹千名を超える大行列でありました。

前回の平成四年の御神期一六〇〇年大祭もこれに倣ったものです。

御鎮祭の年に遡って五十年ごとの式年を奉祝する「大祭祀」を御神期大祭と称し、近くは平成四年の御神期一六〇〇年大祭、その前は昭和十六年に一五五〇年大祭、明治二十四年に一五〇〇年大祭、天保十一年に一四五〇年が斎行されておりました。

しかし五十年に一度では、人の一生のうちに一度か二度出会うか出会わぬかの祭儀であり、今の流れの中では如何にも間隔が長すぎます。地域との繋がりを密にし、人の暮らしの中にあるべき神社本来の姿から見ても、もっと短く今の世にあった形態での御神幸が必要と思われる、地域の方々からもそのようなお声を耳にしております。

今回、そのような思いを基本に、五十年の間を埋める御神幸として、平成四年の御神期一六〇〇年大祭から二十年、県道東合川・野伏間線の高良山麓開通・九州新幹線の全線開通を含め、地域の変化を神様に御覧戴き、地域発

展を願う神事として、本年は、御井・山川・高良内の三校区を巡る、御神期大祭の列次を縮小した形での御神幸祭を斎行したいと考え、地区・御崇敬・御関係の皆様御賛同・御協力を賜り実施する次第であります。

高良大社神幸祭実行委員会

実行委員長 武部真雄
実行副委員長 高田昭和
実行副委員長 古賀忠男

一、目的指針

●『九州総まつり』としての神幸祭を斎行し、山麓三地区（御井、山川・高良内校区）をはじめ、地域の町おこし及び活性化の為の神事として位置づけし、地域の誇りとすると共に、歴史伝統を見直し文化的な行事として慣例化する。

●東日本大震災、新燃岳・桜島大噴火昨年そして本年の自然災害で甚大なる被害を受けた地域の復興を希い、住民の一日も早い元の安寧なる生活を目指すことを祈念する。

二、歴史的特徴

●神護景雲元年（西暦七六七年）に称徳天皇の勅裁により神幸祭が始められた。

●九州の総社としての社格を持ち、九州屈指の豪族（菊池・島津・大友・小式）四頭が任命され、輪番制にて斎行された。

●供奉（神輿の同伴）の行列としては、威儀物、「三種の宝器」、鷹鷲神人、日出傘神人、巴神人、日月神人、八人神官代などの所役からも見受けられるように、他に類を見ない九州王朝の行列に相応しい絵巻物である。

三、斎行日程

平成二十四年十月十四日（日）
一日で斎行致します。

四、斎行要綱

●高良大社御神期一六二〇年及び山麓バイパス開通を機に、以降毎年斎行を計画しております。

●高良玉垂神輿一基に三柱（高良大神・八幡大神・住吉大神）を御遷座して斎行致します。

神幸祭 渡御御巡幸経路及び時刻一覧

場 所	時 刻	距 離	内 容 説 明 欄
遷霊祭 10月13日	15時00分		10月13日(土)に斎行→神輿に神様をお遷し申し上げる神事
開門 10月14日	6時00分		中門を開ける時刻です
第1鼓 諸員参集	6時00分		【終日奉仕者】は高良会館において着替えを致します[朝食神社で準備]
第2鼓 列立,参進	7時50分		神職と代表奉仕者は斎館前に向き合い整列し、御本殿に向かいます
第3鼓 発輿祭	8時00分		中門前にて一日の無事安全を神様にお願いします
第4鼓 社頭御発輿	9時00分	0m	[終日奉仕者マイクロバス乗車]
高良大社中門前	9時00分	0m	【午前の部奉仕者】は午前7時から高良下宮社で衣装を着けます
↓			
広手交差点(御井町バス停)	9時20分	3,937m	神輿をトラックから台車にお遷しします 【午前の部奉仕者】出発
↓			
高良大社社号塔	9時30分	4,107m	県道東合川野伏間線(新道)を右折
↓			
国道322号線交差点	30分	4,852m	
↓			
朝妻社[味水御井神社]	10時00分		
《御旅所祭》	30分	5,130m	味水御井神社 神様の禊行事を行います(マリーゴールド第2駐車場に駐輿)
朝妻社[味水御井神社]	10時30分		
↓			
九州自動車道高架		6,090m	
↓			
山川追分交差点	11時00分	6,767m	
↓			
王子宮[高良御子神社]	11時30分		
《御旅所祭》	30分	7,620m	[山川校区]御旅所祭斎行後、休憩致します
王子宮[高良御子神社]	12時00分		
↓			
九州自動車道高架		8,748m	
↓	40分		
広手交差点(御井町バス停)		9,709m	【午後の部奉仕者】は午前11時から高良下宮社で衣装を着けます[昼食摂る]
↓			
高良下宮社	12時40分		【午前の部奉仕者】は高良下宮社で終了[昼食摂って帰宅]
《御旅所祭》	50分	9,900m	[御井校区]御旅所祭斎行後、昼食を摂ります
高良下宮社	13時30分		【午後の部奉仕者】出発
↓			
矢取交差点		10,538m	
↓			
九州自動車道高架	60分	10,855m	
↓			
長園バス停		11,798m	
↓			
高良内八幡神社	14時30分		
《御旅所祭》	30分	12,100m	[高良内校区]御旅所祭斎行後、休憩致します
高良内八幡神社	15時00分		
↓			
長園バス停		12,416m	
↓	35分		
矢取交差点		13,692m	
↓			
県道東合川野伏間線	15時35分	13,957m	県道東合川野伏間線(新道)を右折
↓			
高良大社社号塔	15時45分	14,563m	高良大社社号塔交差点を右折⇒一路、高良山上を目指します
↓			
広手交差点(御井町バス停)	15時55分	14,733m	神輿を台車からトラックにお遷しします[終日奉仕者マイクロバス乗車]
↓			
九州自動車道高架		14,872m	【午後の部奉仕者】は高良下宮社で終了[直会弁当受けて帰宅]
↓	20分		
鷲尾山(広場)		17,485m	
↓			
高良大社中門前	16時15分		神輿をトラックから降ろします
↓			
還幸祭斎行	16時30分	18,650m	中門前にて神様を元の神座にお還り戴く祭儀を斎行致します
↓			
還幸祭終了,解散	17時00分		【終日奉仕者】は高良会館において着替えます神輿を収納[直会弁当受けて帰宅]

※総行程距離⇒終日奉仕者[18,650m]但し高良大社⇔広手交差点マイクロバス乗車、午前の部奉仕者[約5,900m]、午後の部奉仕者[約4,800m]

午前の部

午後の部

神幸祭行列



この度の神幸祭行列は、先の平成四年の御神期大祭より縮小してはおりますが、総勢二百有余名の奉仕によりお仕えされます。

①神職を先頭に、②赤鬼青鬼（猿田彦神とも伝えられています）は③獅子と共に神幸路を被う役を担います。

続く④風流の一団も古くより、高良大社の神幸祭に供を致します。多くの⑤幡や幟が賑わいを増し、

⑥三つ又の鉾に下がる青赤の水神火神は、北部九州の神社によく見られるもので、猿田彦神を表すとも謂われ、鼻高の面が周囲に睨みをきかします。

⑦伶人の奏する雅楽の音色は神様のお出ましを一層感じさせます。⑧大鎧は高良大神、八幡大神、住吉大神の三具あります。

⑨御幣を戴く白馬は神様のお載りになれる神馬であり美しく飾られ、行列を迎えるお子さん方に人気です。

⑩鉾に続いて鷹の羽の冠り物の鷹鷲神人は他所には無い珍しいもので、その名の如く鳥を表していると言われ持つ具は太陽を

文章内の①以下を、下の画①以下と対比してご覧ください。

表しています。続く⑪巴紋の入った具、⑫日月の描かれた大きい軍配状の執物は威儀物と称されて儀式（神幸祭）の威容を調えるための具となります。

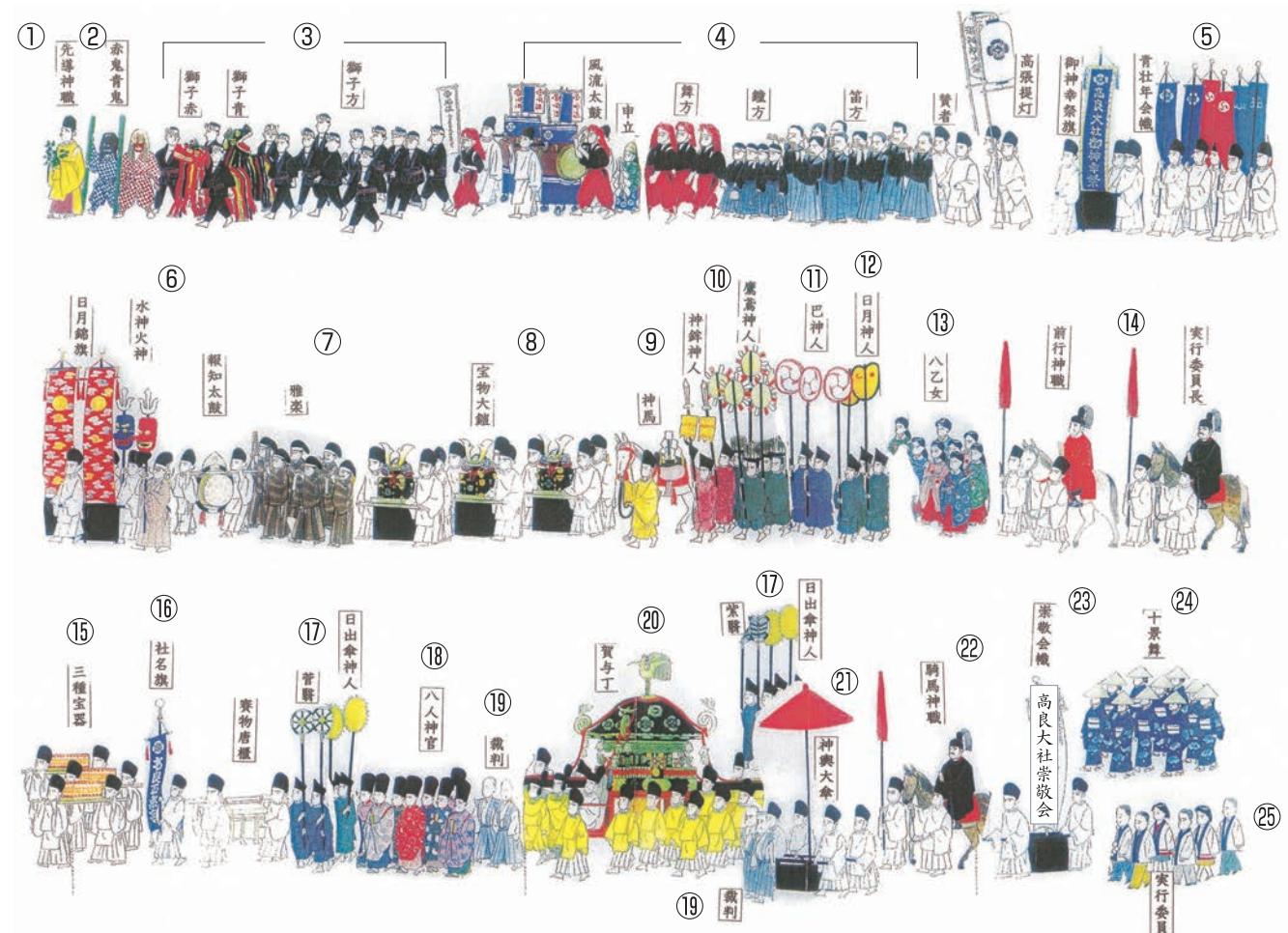
⑬八乙女は高良神神話に出てくる舞人であり神に仕える女性です。⑭馬乗の神職、実行委員長に続いて、⑮御神宝である鏡、玉、剣の三種の宝器。⑯社名旗は藤原佐理の筆による高良玉垂宮です。

⑰神輿の前後にある菅簪、紫簪、日出傘は高貴な方のお顔を直接拝さないように覆うものです。

⑱八人神官は当社の旧社家（代々仕える神職の家）の方々であり、八人神官を共にすれば御神幸が出来るという居なくてはならない方々です。⑲裁判は神輿を警護致します。⑳玉垂宮の神輿に今回は御三座（高良大神・八幡大神・住吉大神）がお載りになられていらつしやいます。㉑大傘は神輿の覆いでありあります。

㉒宮司が神輿のお供を致します。㉓高良大社崇敬会の幟に続いて㉔高良山十景舞を舞われる保存会の方々㉕神幸祭実行委員会、高良大社崇敬会の方々が供奉致します。

文章内の①以下を、下の画①以下と対比してご覧ください。





神幸祭

渡御御巡幸経路一覽

御巡幸経路及び予定時刻

16:30	15:45	14:30	12:40	11:30	10:00	9:30	9:00
⑧ 高良大社御着輿	⑦ 高良大社社号塔	⑥ 高良内八幡神社 (こうらうちかはまじんじや)	⑤ 高良下宮社 (こうらげぐうしゃ)	④ 高良御子神社 (こうらみこじんじや)	③ 味水御井神社 (うましみずみいじんじや) (マリーゴールド第2駐車場)	② 高良大社社号塔	① 社頭御発輿
	矢取交差点	九州自動車道高架	矢取交差点	追分交差点	九州自動車道高架		



高良山くんちまつり



高良山くんち(おくんち)は高良大社で一番大きなお祭りです。お祭りは、初日の十月九日午前零時の神生祭から始まり午前十時半よりの例祭、二日目の十日には崇敬会大祭、そして三日目の十一日の月見の観月祭まで、例年三日間の日程で行われますが、本年は十月十四日御神幸祭(御神輿巡行)が二十年ぶりに斎行されます。

期間中は、久留米喜多流の謡曲や高良山十景舞、表千家不白流による献茶式、各種武道の演武、御井町風流、主基地方風俗舞の奉納、さらに観月祭の催事まで含めると、実に数多くの奉納行事があります。また、剣道大会、盆栽展、小笠原流弓馬術同門会による百々手式、弓道大会、嵯峨御流生け花展、なども開催され高良山くんちに華をそえます。

高良山くんちは、古くは旧暦九月九日に行われ江戸時代には有馬家(久留米藩主)の参拝があった由緒あるお祭りです。

高良山で秋のお祭りといえ、かつては御神輿巡行がある秋の御神幸祭を指しましたが、大規模すぎて途絶えがちになり、江戸時代に旧暦九月九日のお祭りが例祭となったといわれています。九月九日は重陽の節句であり、その御神幸の準備の始まり、また一説に御鎮座を伝える吉日でもあります。このような由緒がやがて、「高良山くんち」を例祭とする流れになったようです。

私たち日本人は先人から伝える文化・風習・伝統を大切に、後世に伝えて行きたいものです。

神事祭事

◆十月八日(月) 体育の日

百々手式 小笠原流弓馬術同門会
弓道大会 境内特設弓道場にて



(弓道大会)

◆十月九日(火)

神生祭 午前零時
例祭 午前十時三十分
謡曲奉納 久留米喜多流奉賛会
舞奉納 高良山十景舞保存会



◆十月十日(水)

崇敬会大祭 午前十時三十分
献茶式・野点拝服席
表千家不白流九州支部
主基地方風俗舞
宗像大社風俗舞保存会



(野点拝服席)

◆十月十一日(木)

第二十二回 観月祭 午後六時



(太鼓奉演)

観月祭奉納行事

〔本殿〕

午後六時三十分～七時三十分

●仕舞 久留米喜多流奉賛会

●箏曲 中村雅楽芙美社中

●琵琶 筑前琵琶保存会

●吟詠 錦城流 加藤城勲師

〔境内特設舞台〕

午後七時四十分～九時

●箏曲 生田流正派

●久遠太鼓

●久留米にわか 立正佼成会久留米教会

久留米にわか保存会

●柳川日吉太鼓 日吉ぎんなん社中

●柳川日吉神社

柳川日吉神社

●雅楽 高良大社雅楽同好会

●御茶席奉仕

表千家北村宗孝社中

◆十月十四日(日)

神幸祭

〔出御〕

発興祭

御発興

午前八時

午前九時

〔御旅所祭〕

朝妻社(味水御井神社)

王子宮(高良御子神社)

高良下宮社

高良内八幡神社

十一時半

十二時四十分

午後二時半

〔還御〕

還幸祭

午後四時半

神賑行事

九月二十三日(日)

第十二回 高良山剣道大会

境内特設剣道場



九月二十八日(金)～三十日(日)

第十三回

さつき盆栽秋季展

中門内展示場



十月七日(日)

古武道棒術演武 神影流心気道



十月八日(月)

第四十二回

高良山弓道大会・百々手式

空手演武 新極真会久留米道場

大川民謡 日本民謡協会大川支部

筑後楽(河童太鼓)

大分県 雲八幡宮

鼓舞奉納 御井鼓舞

日向ひよつとこ踊り ときめき会



(大川民謡)

十月九日(火)

居合道模範演技

戸山流居合道福岡県連盟

和太鼓演奏 筑水高校太鼓同好会



(空手演武)



(和太鼓)

十月九日(火)～十二日(木)

第十三回

嵯峨御流生け花展
華道嵯峨御流諸岡社中

高良大社崇敬会だより

会員、五百有余名にて組織される高良大社崇敬会も、設立より五年目の「おくんち」を迎えようとしております。

①崇敬会大祭の斎行

吉例により来る十月十日（水）に会員に御案内申し上げ斎行致します。例年の表千家不白流による献茶式に続き、本年は宗像大社風俗舞保存会による主基地方風俗舞の奉納がございます。

②旧宮司邸周辺の整備工事

七月中旬の大雨による旧宮司邸への入り口付近の土砂崩れのため工事車両が進入できず着工が遅延しています。ようやく九月中旬に仮復旧され、年度末までに完成する予定です。

③高良大社神幸祭への協力・奉仕

十月十四日に斎行の高良大社神幸祭にて必要とされる調度品や装束などの新調・補修に協力すると共に、行列に加わり神輿のお供を致します。

④会員の入会勧奨

年々入会者の増加を見ておりますが、引き続き目標会員数の千人を目指して活動して参ります。会員の皆様からのご紹介もお待ちしております。

第四十二回 高良山書道展

恒例の高良山書道展・書道達祈願祭が七月二十一日に行われました。

多数の力作が奉納され、上位入賞者は左記の通りです。

〔高良大社宮司賞〕	江藤 了一 (小6)
〔高良大社崇敬会会長賞〕	森 恵理子 (高3)
〔福岡県知事賞〕	荻島 詩央里 (中3)
〔福岡県議会議員賞〕	永江 咲好 (小3)
〔久留米市長事賞〕	酒井 媛梨 (小1)
〔久留米市議会議員賞〕	新谷 汐梨 (中1)
〔西日本新聞社賞〕	大坪 真実 (一般)
〔硯山賞〕	あべ すすか (小2)
〔審査委員長賞〕	福田 萌菜 (高2)
〔高良大社賞〕	馬場 礼悟 (中2)
	武藤 あかり (小4)
	原 夏希 (小5)
	浅川 慶太郎 (小1)
	高木 成和 (小2)
	宮崎 なぎさ (小3)
	伊藤 明子 (小4)
	北島 翼 (小5)
	緒方 梨乃 (小6)
	中村 晴葉 (中1)
	古賀 茅乃 (中2)
	鹿見島 桃佳 (中3)
	関 瑞恵 (一般)
	藤原 侑葵子 (高2)
	堤 ひゆう (小1)
	鶴元 あおい (小2)
	中村 果穂 (小3)
	中島 百霞 (小4)
	金山 彩花 (小5)
	徳永 彩 (小6)
	金子 実桜 (中1)
	橋本 奈央子 (中2)
	森 知世 (中3)
	秋山 風佳 (高1)
	内田 有紀 (高2)

祭事報告

■献灯祭 八月一日

神社正面石段（一三〇段）の両側を飾る献灯は本年、九十三社百十二灯御奉納戴き、八月一ヶ月間夜間点灯致しました。

山川招魂社秋季大祭のご案内

十月二十日（土） 午前十一時
勤王殉国の士、佐賀の乱・西南戦争の戦死者以降の旧久留米領内出身の戦没英霊をお祀りする山川招魂社にて秋の大祭が斎行されます。
ご英霊へ感謝の祈りを捧げる多数のご参拝をお待ちしております。
当日は祭典後、銃剣道の奉納試合があります。

七五三祈願のご案内

お子様の無事成長を感謝申し上げ、更なる御加護を願うご家族皆様お揃いでお参り下さい。
祈願祭は十月下旬より十二月上旬まで、毎日午前九時より午後四時迄随時受付しております。祭典等によりお受けできない時間帯がある日も御座いますので、お問い合わせ下さい。

三歳 平成二十二年生 男女
五歳 平成二十年生 男
七歳 平成十八年生 女
祈願料 お一人 五千円以上

鎮守の杜

祭祀舞の講習が今夏八月二十日から三日間、福岡県神社庁であり、私は舞を覚えるため行かせていただきました。講習は限られた時間の中で、学ぶことが多く、舞う時の姿勢や、手足の配り、流れるような動きを綺麗に見せることはまだまだできず難しいです。それが大事と講師の先生からご指導をいただきました。奉仕して日の浅い私は今まで他の神社の巫女さん方とお話をしたことが無かったので、神社の話をする中、とても新鮮に感じ、楽しく、さらに興味がわき多くの神社に参拝してみたいと思いました。友達もつくることが出来ました。これから神社に奉仕するにあたって、講習で学んだこと、講師の先生の言葉を思い出し、練習し、神様に喜んでいただける舞を奉納できるように頑張りたいと思います。もう少しで、神社の巫女として奉仕させていただきます。一年経とうとしています。日々が勉強とこれから頑張りていきたいと思っています。

中島春美

「たまたれ」 通巻二十三号

平成二十四年十月一日発行

発行者／高良大社社務所

福岡県久留米市御井町一番地

電話〇九四二一四三二四八九三

FAX〇九四二一四三二四九三六